

透析液の安全管理

臨床工学技士

たかみ あきお
高見 彰男

透析は末期腎不全に対して、体内に溜まった毒素や水分を取ったり電解質の調節をしたりする治療法です。透析治療では、まず、私達臨床工学技士が機械や透析液を準備し、透析をきちんと行える環境を整えスタートとなります。その後、透析専任の看護師がきめ細かな観察を行いながら治療を行っています。また、一回の透析では約120Lの透析液を使用しますが、この透析液をきれいにする（清浄化）が、安全で安心な治療には欠かせません。

透析液を補充液として血液回路内に注入するオンラインHDF、透析用装置の自動化により、体内に流入する可能性が高まったため、より厳しい水質管理が必要となりました。

水質管理の指標として測定するものは、エンドトキシン（ET）と生菌になります。当院では、逆浸透法精製水製造装置（透析治療に必要な水を作る装置）、多人数用透析液供給装置（作成された透析液を各装置に送る装置）、透析用患者監視装置（透析治療を行う装置）のETと生菌測定を月一回行っています。その他に、定期的なエンドトキシン補足フィルター（ETRF）等の交換を行っています。

当院での水質検査の基準は、すべての採液場所において、日本臨床工学技士会の透析液清浄化ガイドライン Ver.2.01 のオンライン補充液の基準を参考にしています。

4-3-4-1 オンラインHDF/HF装置（オンライン補充液）

ET活性値：0.001EU/mL 未満

生菌数： 10^{-6} CFU/mL 未満

検体採取量：10mL～100mL

測定頻度：メーカーの添付文書に記載された管理基準に準ずる。



すべてをオンライン補充液の基準にすることによって、ETRFに異常があった際も、透析液の安全性を保つことができます。

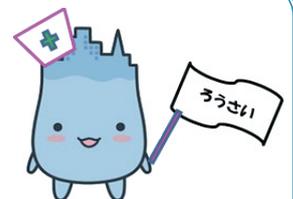
私達臨床工学技士は、透析液の濃度・水質を管理するだけでなく、透析装置の管理を行いながら医師、看護師と連携し、患者さんに安全で安心な透析治療を受けていただけるよう取り組んでいます。

富山ろうさい病院では、毎月、魚津市ケーブルテレビ「NICE-TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：3月1日～3月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「脳神経内科って何を診る科ですか」 脳神経内科 久保雅寛



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ



富山ろうさい病院ホームページからもご覧になれますのでチェックしてください！

発行：独立行政法人労働者健康安全機構富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページにも掲載しています。

【連絡先】0765(22)1280(病院代表)

E-mail: chiiki2@toyamah.johas.go.jp